

JAからのおたより

私たちはTPPに
日本が参加することに断固反対します



JA ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES

第10回
全国和牛能力共進会
長崎県大会
2012年
10月25日(木) ▶ 29日(日)



7月号

JA ごとう
2012 No.77



ごはんちゃん©

TOP NEWS!!

第11回通常総代会 開催

CONTENTS 目次



- 2p ・ CONTENTS
・表紙 PHOTO 紹介
・平成24年度 第2回理事会（平成24年 6月7日 開催）
- 3p 太陽と緑 五島がうまいの立役者
- 4p TOP NEWS
- 第11回 通常総代会 開催 -
- 6p 今月のスポット
- 8p 青年部の活動
- 9p ・ 女性部の活動
・ 新任 LA 紹介
・ 夏期農機自動車大展示会のご案内
産直市場 **五島がうまい**・直送便
- 10p 全国和牛能力共進会 五島地区代表牛決定!!
- 12p 総合ポイント制度に関するお知らせ
- 13p
・ 旅行センターからのお知らせ
・ 補聴器相談会実施中!
・ 産直市場 **五島がうまい**・
・ (株)JA ごとう葬祭斎場 浄倫会館
・ 編集後記



上段左から順に

- ・ 崎山葉タバコ収穫（6月13日）
- ・ 崎山小学校小麦収穫体験（6月14日）
- ・ 全国和牛能力共進会 五島地区代表牛選考会（6月1日）
- ・ 下地区ふれあい電化ショー（6月9日）
- ・ 女性部三井楽支部共同購入商品料理講習会（6月13日）
- ・ 富江幼稚園児ルビートマト収穫体験（6月14日）

平成二十四年度 第二回理事会

（平成二十四年六月七日（木） 開催）

- 1、報告事項**

報告 1 主な事業経過と行事予定について

報告 2 主要事業五月末計画と実績について

報告 3 産直市場「五島がうまい」五月末実績について

報告 4 麦の荷受、検査実績について

報告 5 平成二十三年産ソバの仮渡金について

報告 6 地域労力支援システム構築推進事業の取り組みについて

報告 7 地区別総代説明会の主な質疑・回答について

報告 8 平成二十四年五、六月期県内家畜市場市況について

報告 9 第十回全国和牛能力共進会五島地区代表牛選考会結果について

報告 10 平成二十三年度下期監事監査の結果について

報告 11 貸付金の実行について（四、五月分）

その他

2、議案事項

議案 1 第十一回通常総代会運営要領（案）について【可決】

議案 2 総代会招集及び通知内容並びに総代会参考書類決定の件【可決】

議案 3 決算書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び事業報告並びにこれらの附属明細書）及び部門別損益計算書承認の件【可決】

議案 4 平成二十四年度事業計画設定の件《総代会議案》【可決】

議案 5 固定資産の取得・処分の特例《総代会議案》【可決】

議案 6 TPP 断固阻止に向けた特別決議《総代会議案》【可決】

議案 7 JAバンク基本方針の変更について《総代会報告事項》【可決】

議案 8 個人情報保護統括管理責任者の選定について【可決】

議案 9 転貸資金の借入について【可決】

議案 10 貸付金の審査について

その他

太陽と緑

五島がうまい の 立役者

NO 26



田口さんは現在、インゲンマメ（ス
テイヤー）などを主に栽培していま
す。

夢のある農業

田口さんが農業を始めたきっかけ
は、ご両親が農業を行っていたから
ということもありますが、何より農
業が好きだったということです。以

二人三脚で作る

おいしい野菜

五島市富江町

田口健太郎さん(73)

前は農地の大規模化に憧れを抱いた
こともあったと語っていました。

孫の教えで

田口さんのインゲンマメのビニ
ルハウスに入ってまず、目についた
のは下に敷き詰められている稲わら
と、インゲンマメの脇に並んで植え
られたナス、深ネギでした。「稲わ



田口健太郎さん(左)妻:ミツエさん(右)



らには湿度を調整してくれる効果が
あるようなので全面に敷き詰めてい
ます」と田口さん。

また、奥様のミツエさんは「ハウ
スの両脇に植えている植物には同じ
ところに植えると防虫効果があると
孫が教えてくれたんです。農業を使
わなくて良いようにとインターネッ
トで調べてくれたみたいです」と笑
顔で話して頂きました。

葉タバコから野菜へ

昨年まで、葉タバコの栽培も行っ
ていた田口さんですが、今年から野
菜一本の栽培になりました。「タバ
コの栽培を辞めたので、大好きな海
に行く時間が増えると思っていたが、
野菜作りが忙しくてなかなか行く暇
がない」と言いながら、直売所から
追加で商品を頼まれると嬉しいと
語ってくれました。

海も山もおもしろい

昨年の第十一回農産物加工コン
クールで最優秀賞（南瓜）を受賞す
るほどの、野菜作り名人である田口
さんですが、畑だけでなく、海にも
時間が許す限り訪れています。現在
直売所に並んでいる「山崎塩」は田
口さんが作ったミネラルたっぷりの
お塩です。「五島はなんでもおいし
いものが揃っている。自分達で作れ
るものは、これからもできる限り
作っていききたいね」と田口さん。

最後に今後の抱負を尋ねると、「今
年はサトイモをたくさん作ったので、
学校給食で子どもたちにおいしく食
べてもらいたい」と夫婦揃って地域
のために野菜を出荷していきたいと
いうことを語って頂きました。





2012.6.27 in カンパーナホテル

第11回通常総代会 開催



新中期経営計画(22~24年度)の基本テーマとして掲げた **4** つの「チャレンジ」

1 農畜産物販売高41億円 (24年度末)へのチャレンジ

有利販売やファーマーズ・マーケット等、農家組合員の生産意欲をかき立てるような販売戦略に力を入れ、計画最終年度である今年度での、畜産20億円、農産園芸21億円の販売高実現を目指します。

2 組合員、地域住民、役職員のバランスのとれた3者満足の実現へのチャレンジ

J Aを構成する組合員と利用者である地域住民、そして運営に携わる役員や働いている職員、それぞれの立場で十分に納得できる関わり方・組織の在り方を追求します。

3 五島市、新上五島町におけるJ Aの存在感と社会的地域確立へのチャレンジ

事業量や職員数等、地域へ与える影響や組織の公的性質を踏まえ、地域社会で信頼される組織としての自覚と誇りを持って組織運営と事業活動に邁進します。

4 每期配当可能な安定的経営へのチャレンジ(事業管理費率95%の確保)

独立した経済活動を行う組織であることから安定的な経営を維持していくことは勿論のこと、特に金融機関として求められる財務基盤の強化に引き続き取り組みます。

第11回通常総代会議案

報告事項 1 平成23年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告について

第1号議案 平成23年度事業報告及び剰余金処分案承認の件

平成23年度の実業報告内容をご説明し、ご承認をお願いいたします。併せて、当期の未処分剰余金について法定事項の所要の積立その他組合定款に基づく積立金として処分並びに配当を行い、剰余を繰り越すことのご承認をお願いするものです。

第2号議案 平成24年度事業計画設定の件

平成24年度の「事業計画」のご承認をお願いするものです。

ただし、年度途中において事業計画の変更が生じた場合でも、軽微な変更でかつ組合員に特別の負担を伴わない限りにおいては、理事会に一任願います。

第3号議案 固定資産取得・処分の件

管内農業の深耕と魅力ある事業展開を維持するために、固定比率の改善と施設の有効活用を念頭に置きながら、固定資産の取得・改善等についてご承認をお願いするものです。

第4号議案 平成24年度理事及び監事の報酬支給額決定の件

役員報酬については、昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を踏まえ提案しております。

- ①理事の報酬は総額38,320千円以内とし、各理事の支給額及び支給方法については理事会に一任します。なお、理事は21名であります。
- ②監事の報酬は総額9,580千円以内とし、各監事の支給額及び支給方法については監事の協議に一任します。なお、監事は5名であります。

第5号議案 第10回全国和牛能力共進会に係る出えん金額変更の件

第10回全国和牛能力共進会に係る出えんについては、平成19年開催の当組合総代会にて、平成19年度から平成24年度までの間における毎年出えん金額を承認いただいていたところですが、最終事業年度である平成24年度の予定額について次の通り変更の必要が生じたため、ご提案するものです。

なお、出えん先については「第10回全国和牛能力共進会長崎県実行委員会」であります。

また、出えんの具体的な時期・処理方法については、理事会へ一任いただきますようお願いいたします。

- 1. 出えんの総額
(当初) 5,946,061円 (変更後) 7,314,000円
- 2. 平成24年度(最終年度)の出えん額
(当初) 991,061円 (変更後) 2,359,000円

第6号議案 平成24年産米麦等のバラ検査及び抽出検査に関する権限委譲の件

売渡米麦等の検査に際し発生した刺米等の受領及び処理について、その取扱いを一切組合に委任することをお願いするものです。

第7号議案 政府等支払い奨励金、助成補助金及び交付金の申請、受領に関する事務等を生産者より組合へ委任する件

平成24年産の米麦、新規需要米、加工用米、種子粳、種子麦、大豆、種子大豆及び規格外麦等に対し、政府、農業再生協議会等より支払われる奨励金、交付金等の申請、受領に関する権限及び奨励金、交付金等の額の確定に伴い生じる返還に関する事務並びに復代理人の選任に関する一切の権限を組合に委任することをお願いするものです。

附帯決議 この総代会において議決された事項で、権利義務に関しない軽微な事項、字句の修正及び行政庁の指示による修正は理事会に一任願います。

報告事項 2 J Aバンク基本方針の変更について

特別決議 TPP 断固阻止に向けた特別決議

トマトの花はどんな色？

- 富江幼稚園児ルビートマト収穫体験 -



いっぱい採れたよ！

五島市富江町の阿野隆馬さんのビニールハウスで十四日、富江幼稚園の児童たちが五島特産のルビートマトの収穫を行いました。

今回は先生、児童、保護者などおよそ三〇名が参加。阿野さんからハウスの中で走らない、(収穫する際は)強く引つ張らず、優しく収穫することなどの説明を受け、ハウス内で思い思いに収穫をしました。収穫中の園児たちからは「大きいのが採れたよ」「甘くておいしい」などの声が聞かれ、楽しい思い出となりました。

また、収穫が終わった後には阿野さんへの質問の時間も設けられ、「トマトの花はどんな色?」や「(トマトの実が)緑から赤に変わるのはどうして?」など、可愛い質問も飛び出しました。

この収穫体験は五年前から行っており、子どもたちが小さいうちから地元の食材を知る良い機会になっています。

(日本農業新聞六月二十六日掲載)

小麦収穫盛ん

- 平成24年産チクゴイズミ収穫 -



二十四年産小麦の収穫チクゴイズミ

管内各地で小麦の収穫が最盛期を迎えました。五月三十日には五島市富江町にある同JAの富江ライスセンターに、収穫した小麦の搬入を行う生産者の姿が多く見受けられました。

同地区で収穫作業を行う田頭久好さんは「チクゴイズミをおよそ三・五畝栽培しているが、今年は遅霜の影響が出ないか心配。昨年の収量があり良くなかったため、今年はそれ以上の品質、収量になれば」と話しました。

同管内ではチクゴイズミとミナミノカオリの二銘柄を栽培。二銘柄合わせた栽培面積は約七七・六畝、出荷量は約二二二トを計画。管内では小麦全体の八割がチクゴイズミ、一割がミナミノカオリとなっています。今年の小麦は遅霜の影響を受けたものの、例年並みの収量となりました。

(日本農業新聞六月二日掲載)

涼を感じる窓口へ

- 節電へ向け福江支店 -



キャンペーン用の掲示板

当JA福江支店では、エコ活動の一環として例年に比べ空調の使用を抑えるため、来店者に涼を感じてもらおうと支店職員が工夫した窓口づくりを行っています。

管内でも信用事業の取引の多い同支店では、今回キャンペーンの粗品となっている製氷皿を使用し、職員がカラフルなキャンダルを作成。夏をイメージしたすだれを付けた掲示板の上から作成したキャンダルや造花などを配置し、キャンペーンの広告を行っています。

このアイデアを考えた同支店管理金融課の片山志津香さんは「支店を少しでも明るく華やかにすることで、お客様のイメージも変わってくると 생각합니다。季節ごとに手作り掲示物を作り、今後も支店職員一丸となってサービス向上に努めます」と話しました。

同支店では今後も職員からの意見を積極的に採用し、支店のイメージアップを図る予定です。

(日本農業新聞六月十九日掲載)

完熟メロンを召し上がれ

- 24年産アムスメロン収穫 -

当JA西部支店管内ではアムスメロンの収穫が最盛期を迎えました。管内では一八戸の農家で二月下旬から三月中旬の間に植え付けを行い、今月から本格的な収穫のピークを迎えました。

五島市岐宿町の鶴川重之さんの圃場ではおよそ五[㍉]でアムスメロンを栽培。同JAで栽培されるアムスメロンは、ネットの張りや甘さが特徴。奥様の栄子さんは「毎年一年生の気持ちでメロン作りを行っています。収量・品質ともに昨年並みを維持できたので、梅雨を迎える前にすべて収穫できれば」と話しました。

同支店管内の二〇一二年産アムスメロンの栽培面積は一・六[㍉]、出荷量は五〇[㍉]を計画しており、個人で地域の直売所などに出荷するものやネット販売がほとんどということですが、

職員は「今年は晴天が続く、絶対の条件であった。管内のアムスメロンは糖度一五度以上のもので出荷するので、梅雨を迎える前に収穫を行い、一人でも多くの消費者に食べてもらえれば」と語りました。

(日本農業新聞六月十四日掲載)



収穫を行う鶴川栄子さん

収量・品質共に良好

- 平成24年産葉タバコ収穫 -

JAごとう岐山支店管内では葉タバコの収穫が最盛期を迎えました。五島市下崎山の山内清一さんの畑では三〇[㍉]の畑で葉タバコを栽培。七月中旬ごろまで収穫を予定しています。

「今年は最近にないほどの豊作。梅雨時期の長雨による病害虫の発生や台風などが心配だが、今後もしも良い天気に恵まれれば」と山内さんは語っていました。

昨年まで不作続きだった管内の葉タバコですが、今年は天候にも恵まれ、順調な生育となりました。

農家の高齢化や喫煙者の減少に伴い、管内の葉タバコ生産者は減少したものの、久しぶりの吉報となりました。

JA担当職員は「今年産の葉タバコは長雨も少なく、計画通りの豊作となった。品質も良く、今後は病害虫の防除管理を徹底していきたい」と話しています。

(日本農業新聞六月二十三日掲載)



収穫を行う山内さん⑤と中村さん

衝撃的な存在感

- 本山支店巨大ズッキーニ -

JAごとう本山支店では、2本の巨大なズッキーニが来店した組合員の目を楽ませていきます。

全長およそ五〇[㍉]、重量が四・五キログラムにもなるこの巨大ズッキーニは、同支店管内でズッキーニなどを栽培している田中松博さんが栽培したもの。

支店担当者がいつものように集荷所にズッキーニの集荷をしにいくと、二本の巨大なズッキーニを発見。田中さんは「窓口に展示してもらい、地域の話題の一つになれば」と語ったとのこと。

撮影でズッキーニを抱えた同支店管理金融課の吉原真沙子さんは「通常のズッキーニのおよそ一〇倍もの重さがあるのでとても重たかった。窓口に二本展示しているので、来店された組合員さんは一様に驚いていられる。今後もうこうした作物を接点に同支店を身近に感じてもらえれば」と話しています。

(日本農業新聞六月二十六日掲載)



巨大ズッキーニを抱える職員



お米づくりをやってみよう

- 山内小学校田植え -



上手に田植えできました。

五島市立山内小学校四、六年生の児童三二名は六月二十二日、田植えを行いました。生徒たちは一週間前に同地区の山内ライスセンターにて米づくりに関する事前学習会を実施。自分たちの住む地域でどれくらい米が収穫されるのかなどをJA職員から学びました。同校では農業を基幹産業とした地域性を知り、ふるさとの良さを再発見することを目的に総合的な学習の時間を利用し、毎年農業体験を実施している。同JA青年部では、こうした学校の取り組みを支えていこうと、食農教育を兼ねて毎年田植えの指導を行っています。

田んぼの感触を体験した児童は「土の中は暖かくて気持ちいい」「足が抜けない」と笑顔。最後は児童を代表し、六年生の山田晃英くんが「今日は忙しい中、協力していただきありがとうございます。分らない点をJA職員の方や保護者の方に手伝ってもらい、スムーズに作業できました。これからの作業もお手伝いよろしくお願いします」と感謝を述べました。植えられた苗は今後児童の手で稲刈りや脱穀、収穫が行われ、試食会も実施する予定です。

大地の恵みを実感

- 崎山小小麦収穫体験 -



収穫後の麦を観察する児童



掲載）

（日本農業新聞六月二十二日）

を迎える今回の体験学習には同小学校の生徒約三〇名を含む総勢五〇名で実施。青年部員を先生役に、自分達で昨年十二月に播いて成長した麦を鎌で収穫しました。普段、畑作業をしたことのない児童たちは、青年部員の補助のもと悪戦苦闘しながらも収穫の喜びを味わいました。

同小学校の中村久美彦教諭は「種播きの時子どもたちは眼を輝かせていたが、収穫になるとより一層感動が大きいようだ」と話しました。

今回の収穫体験を企画した青年部の橋本安孝崎山支部長は「最近の子どもたちは土に触れる機会が少ない。こういった体験を通じて少しでも農業に興味を抱いてもらえれば」とコメント。

収穫した麦は約五〇キロになり、十二月には子どもたちとうどん作りを行う材料になります。

当JA青年部は六月十四日、食農教育活動の一環として五島市立崎山小学校の児童と小麦の収穫体験を行いました。五日目

雨にも負けず、風にも負けず

- 富江小学校田植え -



風雨の中よくがんばりました。

JAごとう富江支店管内の五島市立富江小学校で二十四日、もち米の田植えが行われました。あいにくの空模様の中、青年部員、児童、保護者などおよそ一〇〇名が参加。前日からの大雨でいつもより足元のぬかるんだ中、児童たちは青年部員や先生たちの指導のもと、「楽しい」「ぬかるみで足が重い」などと言いつつ、おおよそ五畝の田んぼに一時間半かけ苗を植えました。

田の提供を行った岩田弘孝さんは「昔のように農業を手伝う機会もあまりない子どもたちにとっては、良い経験になったのではないかと。田植えだけでなく、今後も地域の特産品を栽培するなど、様々な体験をさせたい」と話しました。

同小学校の太田誠一校長は「子どもたちが土にまみれて、その土から命の源となるお米がでるという機会。初めての取り組みだったが、今後も継続できれば」と語りました。

同小学校では十月中旬に収穫を予定しており、十一月の学習発表会で収穫したもち米を使って、もちをつき地域住民に振る舞う計画です。

（日本農業新聞六月二十九日掲載）



地産地消のアイデアに - 女性部共同購入商品料理講習会 -

JAごとう女性部三井楽支部では、
十三日、五島市三井楽町の魚菜屋まなまで同JA女性部共同購入商品料理講習会を開きました。



色とりどりの料理が並んだ試食会

よそ一五名が参加。「共同購入商品を使って地産地消」をテーマに料理講習会を行いました。

実習では特産の五島牛と高菜を使った混ぜずしや五島三菜を使った佃煮など六品を作りました。中村正子三井楽支部長は「今日作った料理は全部初めて食べるものばかりだったがおいしかった。身近にある食材で出来るものばかりだったので、帰ってから作ってみたい」と話しました。

担当職員の山田美子さんは「この講習会は約十年前から続けているが、今後も共同購入商品や地場産品を使った料理で女性部の輪も広がっていけば」と語りました。

同JAでは六月十七日まで管内の各支部で同様の講習会が行われました。

(日本農業新聞六月二十七日掲載)

新任 LA 職員紹介

上五島支店
管理金融課 LA
鉄川 昌美



4月の定期異動にてLA課に配属になりました。今まで事務所内の仕事で外に出る機会があまりありませんでしたが、組合員の皆さまのお役に立つ情報をお届けし、気軽に声を掛けられる職員になりたいと思います。

上五島支店
管理金融課 LA
山下 直彦



大きな目標がありますので、正直にできるのかと任命された時もそうですが、今でも少し不安です。3Q訪問を通して組合員や利用者の方々に安心して頂けるようなご提案・推進活動ができればと思っています。

夏期大展示会

10万円以上お買上げの方に
お楽しみ抽選会!!

農業機械・自動車

7月14日(土)・15日(日)

AM 9:00 ~ PM 5:00 AM 9:00 ~ PM 4:00

JAごとう本店特設会場

TEL 72 - 6585

各展示コーナー

- 自動車コーナー
- 農業機械コーナー
- その他各種コーナー

オイル類
特 価
もあります

かき氷
の販売
もあります



同時
開催

ミニ電化ショー
JA グリーン特売!!
産直市場 五島がうまいイベント開催!!



①



②



③



④



が「五島がうまい」にやってきた!!

5月26、27日の両日、「JAごとう産直市場「五島がうまい」イベント広場にて」JA共済アンパンマン交通安全キャラバンショーが行われました。

このイベントは、「五島がうまい」の1周年記念イベントの一環として催され、2日間で1,730人の来場を記録しました。

中尾弘一組合長は「管内ではおよそ29,000台の自賠責共済に加入して頂いており、その積立金の一部で交通安全対策を行っています。今後こういった地域貢献活動を通じ、子どもたちを交通事故から守る一翼を担うことができれば」と挨拶を行いました。

ショーはダンスやゲームなどを交え、子どもたちに交通ルールやマナーを楽しく習得してもらうことが目的となっており、普段なかなか交通安全について考える機会のない親子に、その時間を提供。子どもたちを交通事故から守る内容となっていました。

ショーの終わりにはアンパンマン達との握手会も開かれ、参加した子どもたちからは「楽しかった」「信号が青の時も注意して渡ります」などの感想が聞かれました。

(日本農業新聞6月8日掲載)

PHOTO 紹介

- ①ショーの前にみんなで記念撮影
- ②強く優しいアンパンマン
- ③五島にも小さなアンパンマンが!?
- ④アンパンマン達との握手は一生の記念になりました

おみやげに 特産品をどうぞ

- 「おみやげ品工房」オープン -



五島の特産品をPRする職員

産直市場「五島がうまい」は六日、店舗内に新たに「おみやげ品工房」と名付けたコーナーをオープンしました。

これまで通り地域住民のほか、今後は島外からの観光客も積極的に誘致しようとお土産物の充実を図りました。五島の自然が育んだ五島牛をはじめとする農畜産物、新鮮な海の幸を使用した各種海産物など安心・安全な商品を「モットー」に顧客の新規開拓を行います。直売部の洗川正明部長は「おみやげ品工房が観光や里帰りなどで訪れたお客様の旅の目的の一つとして立ち寄ってもらえるよう、今後も直売所を充実させたい」と話しました。当直売所は、今後インターネット販売にも力を入れる予定で、予算に応じた地元産季節野菜の詰め合わせや五島ならではのオンリーワン商品の販売で知名度拡大を図ります。

(日本農業新聞六月九日、
長崎新聞六月二十四日掲載)

子どもにも人気の五島茶

- 五島茶試飲会 -



多くの家族連れで賑わいました。

J Aごとう産直市場「五島がうまい」で五月二十六・二十七日の両日、五島茶の新茶試飲会が開かれました。

同直売所では四月十九日から一周年記念感謝イベントとしてさまざまな催しが行われており、その一環として実施。週末ということもあり、多くの家族連れが新茶の味と香りを楽しみました。また、この催しでは試飲と共に一日先着二〇〇名に新茶の無料配布が行われ、多くの来場者が訪れました。

試飲会を企画した農産園芸部の松下充部長は「昨年までの五島茶の生産は霜害による被害が大きかったが、今年は県内で最も早い出荷となり、収量・味とも最高の新茶ができた。多くの方に五島茶のおいしさを知っていただけたら」と話しました。

(日本農業新聞六月五日掲載)

たべてみんね

このコーナーでは
直売所の出荷者の皆さんをご紹介します



岐宿支部 樽角 弘幸さん

現在、私は直売所向けにトウモロコシ、インゲン、きゅうり、馬鈴薯の4品目を主に出荷しております。中でもトウモロコシは、子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の方に人気があり、すぐ完売してしまうので、1日に多いときは3回ほど搬入することもあります。今後は人気商品に加え、スナップとレタスの出荷量を増やしていきたいと思います。



福江支部 松島 治郎さん

私は6月より手作りパンの出荷を始めました。現在の商品は国産の小麦粉を100%使用したのですが、今後は五島産米粉を使用したおいしい商品を直売所向けに出荷するために、日々、試行錯誤しながら商品開発に取り組んでおります。地元産米粉のおいしいカステラの出荷まで楽しみにお待ちください。

① 第10回全国和牛能力共進会 五島地区代表牛決定!



厳正な審査で選ばれた17頭の精鋭が県大会
(7月7日 平戸口家畜市場)で県代表の切符を勝ち取ります。

ごとう和牛能力向上推進委員会は1日、五島市吉久木町の五島家畜市場において第10回全国和牛能力共進会へ向けた五島地区代表牛選考会を開き、7月7日の県代表牛選考会に出品する17頭を決定。10月の全国大会出場へ向け、生産者らの意気込みが伝わる選考会となりました。

「和牛の能力と斉一化の向上、五島牛ブランドの確立を目指して」をキーワードに第1次選考会で選ばれた30頭が5部門に分かれて出場。

第2区(若雌の1)から第6区(高等登録群)まで月齢別に体積、均称、資質、品位、栄養などを個体・比較審査して代表牛を決定しました。

結果発表の後、JAごとうの中尾弘一組合長が「今回の選考会は五島地区の肉用牛関係者にとって非常に有意義な大会。5年前の鳥取大会の悔しさをばねに、1頭でも多くの五島牛が県代表となり、全国大会上位入賞を」と激励の言葉を述べました。それを受け生産者代表の吉川久徳さん(第6区 高等登録群)が「五島地区代表として長崎県選考会に参加する機会を頂き、責任の重みを痛感しています。これから関係機関と協力しながら代表牛の飼養管理に全精力を注ぎ、肉用牛の島としての誇りと自信を胸に、五島牛のブランドを高めます」と決意表明を行いました。

(日本農業新聞6月5日掲載)



PHOTO 紹介

- ① 吉川久徳さん(6区代表)による決意表明
- ② 個体審査の様子
- ③ 2区代表となった出口 伝さんとあいり号
- ④ 5区代表となった佐々野勝弥さんとまつかぜ号
- ⑤ 3区代表となった里中信昭さんとはる48号



第10回全国和牛能力共進会 五島地区代表牛一覧

区	名号	地区	氏名
2区 (若雌の1)	かずみ号	山内	木場 兵次
	あいり号	福江	出口 弘美
	はるえ2号	崎山	野口 兼幸
3区 (若雌の2)	はる48号	崎山	里中 邦雄
	あやか号	三井楽	萩里 政之
	ゆかり号	山内	橋口 権助
4区 (系統雌牛群)	ともこ号	福江	山下 松則
	第5いわお号	三井楽	山下 正人
	いくこ号	崎山	川崎 善一
	はるみ号	三井楽	山下 正人
5区 (繁殖雌牛群)	まつかぜ号	崎山	佐々野勝弥
	はれかつ号	富江	向井 正和
	ともなり号	岐宿	谷川 義忠
	みき号	三井楽	山本 茂
6区 (高等登録群)	かずとし号	福江	平山 一郎
	はるこ号	久賀	畑田 幸彦
	りょうこ号	三井楽	吉川 久徳





JAごとう 総合ポイント制度



【ポイント付与基準表】 ポイント付与は取引日の翌月29日を基本といたします。(2月については3月初旬となります。ご了承ください。) 平成24年6月

事業	区分	基準単価等	ポイント数	
信用	融資	住宅ローン	新規契約金額1万円毎に	1
		マイカーローン	新規契約金額1万円毎に	1
		教育ローン	新規契約金額1万円毎に	1
	取引	JAカード	新規申込契約後に	100
		給与振込	取扱口座開設時に	100
			口座振替1件毎に	10
	公共料金 ^(※1)	取扱口座開始時に	3	
		口座振替1件毎に	3	
共済 (※2)	終身	新規契約保障金額10万円毎に	3	
	定期生命	新規契約保障金額10万円毎に	3	
	養老	新規契約保障金額10万円毎に	3	
	こども	新規契約保障金額10万円毎に	4	
	ガン	新規契約保障金額10万円毎に	5	
	医療	新規契約保障金額10万円毎に	2	
	建更 ^(※3)	新規契約保障金額10万円毎に	3	
	年金	新規契約年金金額1万円毎に	5	
	自動車共済	新規契約掛金1万円毎に	3	
購買 (※4)	生活資材	購入金額1千円毎に	1	
	農機具	購入金額1千円毎に	1	
	自動車	購入金額1千円毎に	1	
	電化製品	購入金額1千円毎に	1	
	LPG	購入金額1千円毎に	1	
販売	農産物直売所 ^(※5)	購入金額210円毎に	1	

※1：公共料金は、電気・電話・ガス・NHK・水道となります。なお、JAが取り扱うLPG(ガス)については対象外となりますが、購買事業での利用金額に応じてポイントが付与されます。

※2：共済事業については、お預けの積立額が対象となります。

※3：建物貸付の転貸契約で過去に火災共済金を支払っている場合においては、保障金額よりその額を減算した金額がポイント付与の対象額となります。

※4：生活資材については、ポイント付与対象外となります。

JAグリーンジョーシについてはポイント付与対象外となります。

Aコープでのポイント付与については別冊制度により継続されます。なお、Aコープで発券される500円券(レシート)については、最寄りの支店において、その積当額を、総合ポイント(500ポイント)に置き換えることも可能です。(総合ポイント会員が対象)



農家でなくても准組合員に加入できますので、組合員加入をおすすめします！

旅行センターからのお知らせ

夏の家族旅行
ファミリーズ10シヤル

4プランから選べます!!

海へ山へGo!Go!

わくわくドキドキを探しに行こう!

家族みんなでしゃっば〜っ!

ウレシイおもてなし!!

夏休みちょっぴりプレゼント!!

夏の家族旅行

2012年7月1日(祝)〜9月30日(日)まで

お問合わせは...

お問合わせは...
JAごとう旅行センター
0959(72)6211まで

補聴器 相談会実施中!

あなたの聴こえは大丈夫?

テレビやラジオの音量が大きいと言われる。後ろから呼ばれると気づかないことがある。会議中に聞き返す事がよくある。騒がしい所で相手の声がよく聞き取れない。 など...

聴こえの状態やご予算にあわせて各種補聴器をご用意しております。



ご自宅、又は各支店・出張所にて無料聴力測定いたします。
2週間無料試聴も行なっております。
聴力測定時 機種選定 無料試聴 満足頂ければご購入。
満足頂けない場合はご返却いただきます。
お気軽にご相談ください。

思い当たる「ことある」という方は今すぐご相談ください。

お問合わせ：JAごとう本店 経済部 0959 72 6585

今月の広報誌は子どもたちが大活躍の月でした。最近では食農教育が各地で盛んに行われ、普段なかなか土に触れる機会の少ない子どもたちは悪戦苦闘しながらも楽しそうに農業体験していました。

編集後記

自分の子どもの頃を思い返してみると、実家の祖母は畑を作っており、母方は祖父もみかん農家なので、こういった機会は多かったと思います。

自宅でいろいろな野菜を育てようと考えていますが、前回キュウリが失敗してしまつたので、現在慎重に作物の選定を行っています。

畑がないのでプランターで簡単な物しかできませんが、育ったらこちらで紹介させていただきます。

(紙漣 諒)

産直市場 **五島がうまい**

住所：〒853 0041 五島市籠淵町2450 1
電話：0959 88 9933
FAX：0959 88 9922
営業時間：9時～19時
農家レストランは10時30分～15時(予約については別途)
土日・祝日限定バイキング 11時～15時
料金 大人：1,000円 子ども：500円(小学生以下)
定休日：毎月第1・第3月曜日(祝日の場合は営業、振替なし)

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する

株式会社JAごとう葬祭 斎場 **浄倫会館**

【本店】
〒853 0041 長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)2211 FAX 0959(74)2266

【上五島支店】
〒857 4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355 7
TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955